

(5) N-4

a) N-4. 1

(a) マント群落・ソデ群落の生育状況

N-4. 1 のマント群落・ソデ群落の生育・形成状況を表 7. 2. 3-34～表 7. 2. 3-37、図 7. 2. 3-33 に示した。

無障害物帶縁のマント群落・ソデ群落の過年度からの植生の推移をみると、各地点ともに過年度において、評価図書に示す環境保全措置のとおり、林縁部にリュウキュウチクの植栽を実施し、マント群落・ソデ群落が形成された。今年度にいても樹高、植被率とも維持されていた。以下に各調査地点の植生状況について整理した。

北側は、過年度の調査(平成 27 年度)では、草丈 2.0m、植被率 80%、出現種 25～27 種であった。今年度調査においては、草丈 2.0m、植被率 80～90%、出現種 18～21 種であった。平成 27 年度の段階では、草本類のススキが優占するほか、リュウキュウバライチゴ、ホシダ等が生育していたが、今年度はススキが優占するほか、コゴメスゲも高い被度を示した。

南東側は、過年度の調査(平成 27 年度)では、草丈 2.0m、植被率 100%、出現種 23～25 種であった。今年度調査においては、低木層と草本層に分化し、低木層が高さ 2.5m、植被率 5%、シロダモ 1 種が出現した。草本層が草丈 1.8m、植被率 95%、出現種 23～25 種であった。平成 27 年度の段階では、草本類のススキが優占しており、木本類ではシロダモ等が生育していたが、今年度は木本類のシロダモが生長し、低木層となったほか、草本層はススキが優占していた。

南側は、一時的に低木層と草本層に分化がみられたが、過年度の調査(平成 27 年度)には、草本層の 1 階層に取り込まれ、草丈 2.0m、植被率 90～95%、出現種 37 種であった。今年度調査においては、草丈 2.0m、植被率 90～95%、出現種 30～33 種であった。平成 27 年度の段階では、草本類のススキやコゴメスゲが優占しており、木本類ではフカノキやギイマが生育していたが、今年度は草本類のススキやコゴメスゲが優占するほか、木本類ではホルトノキ、スダジイの被度が高くなっていた。

西側は、昨年度の調査(平成 27 年度)では、低木層が高さ 3.5m、植被率 30%、出現種 4 種、草本層が高さ 1.7m、植被率 70%、出現種 23～24 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 3.5m、植被率 40～70%、出現種 5～6 種、草本層が高さ 1.7m、植被率 70～80%、出現種 19～25 種であった。平成 27 年度の段階では、低木層におけるホソバムクイヌビワやホルトノキ等の木本類の生育や階層分化の状況から他の地点に比べ、樹林地への遷移(マント群落の形成)が進行しているものと考えられたが、今年度も同様に、低木層が生長し、シマイズセンリョウ、ヒカゲヘゴの被度が高くなり、樹林地への遷移(マント群落の形成)が進行していた。

表 7.2.3-34(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1: 北側)

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

佔用度→5：被度が 75～100%、4：被度が 50～75%、3：被度が 25～50%、2：被度が 10～25%、1：被度が 10%未満、+：被度が 1%以下
 群度→5：カーペット状に分布、4：カーペットに穴が開いた状態、3：大きな班を形成あるいはまだら状、2：班状に分布、1：小群状あるいは単独に分布

注)平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-34(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1: 北側)

N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地		北側																					
調査年月日		H23年度			H24年度			H25年度			H26年度			H27年度			H28年度			H29年度			
		6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季
海拔	(m)	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176
方位	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N
傾斜角度	(°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
調査面積	(m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ	(m)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
低木層(S)の植被率	(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
低木層(S)の出現数	(種)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
草木層(H)の高さ	(m)	0.3	0.6	0.7	1.3	1.3	1.3	1.5	1.7	1.7	1.7	1.7	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
草木層(H)の植被率	(%)	15	50	60	75	75	80	80	80	80	100	90	90	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80
草木層(H)の出現数	(種)	17	34	28	27	19	20	22	21	20	18	18	19	19	20	20	25	27	—	—	—	—	—
出現種数	(種)	17	34	28	27	19	20	22	21	20	18	18	19	19	19	20	20	25	27	21	20	18	18
草木層(H)																							
H. 50 ナワシロイチゴ		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
H. 51 モクタチバナ																							
H. 52 サネカズラ																							
H. 53 ヘクリカズラ																							
H. 54 イヌノキ		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
H. 55 ヤマグワ		*	*	*																*	*	*	*
H. 56 ドキワカモメヅル		*	*	*																*	*	*	*
H. 57 タイミンタチバナ																							
H. 58 コンノモチ																							
H. 59 オオノバギ																							
H. 60 シミニアケチ																							
H. 61 クロミノキナワスズメウリ		*	*	*																			
H. 62 カタバミ		*	*	*																			
H. 63 シマサルナシ																							
H. 64 ササクサ																							
H. 65 オニタビラコ		*	*																				
H. 66 リュウキュウマツ																							
H. 67 コシダ																							
H. 68 タカサゴコウジリナ																							
H. 69 ノボタン																							
H. 70 ナガバハリフタバ		*	*	*																			
H. 71 ウスベニニガナ																							
H. 72 ヤシノルニアカガシワ																							
H. 73 マルバケハギ		*	*																				
H. 74 キダチコミカンゾウ		*	*																				
H. 75 ハナカサノキ																							
H. 76 ササバサンキライ																							
H. 77 ナガバカニクサ																							
H. 78 イタリカズラ																							
H. 79 モチノキ																							
H. 80																							
H. 81 ソメモノカズラ																							
H. 82 カラスキバサンキライ																							
H. 83 ヤブニッケイ																							

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5：被度が75～100%, 4：被度が50～75%, 3：被度が25～50%, 2：被度が10～25%, 1：被度が10%未満, +：被度が1%以下
群度→5：かべ状に分布, 4：かべットに穴が開いた状態, 3：大きな班を形成あるいはまだら状, 2：班状に分布, 1：小群状あるいは単独に分布

注)平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-35(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1: 南東側)

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

群度-5：カベ^ト状に分布-4：カベ^トに穴が開いた状態-3：大きな班を形成あるいはまだら状-2：班状に分布-1：小群状あるいは単独に分布

注)平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-35(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1: 南東側)

N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地		南東側																																		
調査年月日		H23年度				H24年度				H25年度				H26年度				H27年度				H28年度				H29年度										
		6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/2	9/1	11/29	1/30								
海拔	(m)	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172							
方位	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S	S							
傾斜角度	(°)	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45					
調査面積	(m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5					
底木層(S)の高さ	(m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
底木層(S)の植被率	(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
底木層(S)の出現数	(種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
草木層(H)の高さ	(m)	0.25	0.6	0.7	1.2	1.2	1.2	1.5	1.7	1.7	1.8	1.8	1.8	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0						
草木層(H)の植被率	(%)	10	70	80	95	95	95	95	95	95	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100					
草木層(H)の出現数	(種)	19	26	28	20	25	25	18	23	18	16	18	21	19	21	22	23	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25			
出現種数	(種)	19	26	28	20	25	25	18	23	18	16	18	21	19	21	22	23	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25		
草木層(H)																																				
H. 50 ナワシロイチゴ	+		1・2	1・2	+・2	+・2																														
H. 51 モクタチバナ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+				
H. 52 サネカズラ																																				
H. 53 ヘクリカズラ																																				
H. 54 イヌノキ																																				
H. 55 ヤマグワ																																				
H. 56 ドキワカモメヅル																																				
H. 57 タイミンタチバナ																																				
H. 58 コンノモチ																																				
H. 59 オオノバギ																																				
H. 60 シニアケチ																																				
H. 61 クロミノキナワズメウリ																																				
H. 62 カタバミ																																				
H. 63 シマサルナシ																																				
H. 64 ササクサ																																				
H. 65 オニタビラコ																																				
H. 66 リュウキュウマツ																																				
H. 67 コシダ																																				
H. 68 タカサゴコウジリナ																																				
H. 69 ノボタン																																				
H. 70 ナガバハリフタバ																																				
H. 71 ウスベニニガナ																																				
H. 72 ヤシノルアカガシワ																																				
H. 73 マルバケハギ																																				
H. 74 キダチコミカンゾウ																																				
H. 75 ハナカサノキ																																				
H. 76 ササバサンキライ																																				
H. 77 ナガバカニクサ																																				
H. 78 イタビカズラ																																				
H. 79 モチノキ																																				
H. 80																																				
H. 81 ソメモノカズラ																																				
H. 82 カラスキバサンキライ																																				
H. 83 ヤブニッケイ																																				

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5：被度が75～100%，4：被度が50～75%，3：被度が25～50%，2：被度が10～25%，1：被度が10%未満。+：被度が1%以下
群度→5：かべ状に分布、4：かべットに穴が開いた状態、3：大きな班を形成あるいはまだら状、2：班状に分布、1：小群状あるいは単独に分布

注)平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-36(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果 (N-4.1: 南側)

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

群度-5：カベ^ト状に分布-4：カベ^トに穴が開いた状態-3：大きな班を形成あるいはまだら状-2：班状に分布-1：小群状あるいは単独に分布

注)平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-36(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1: 南側)

N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地		南側																						
調査年月日		H23年度			H24年度			H25年度			H26年度			H27年度			H28年度			H29年度				
		6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
海拔	(m)	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	174	
方位	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	
傾斜角度	(°)	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査面積	(m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
底木層(S)の高さ	(m)	-	-	-	-	-	-	-	2.0	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
底木層(S)の植被率	(%)	-	-	-	-	-	-	-	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
底木層(S)の出現数	(種)	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草木層(H)の高さ	(m)	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.8	1.2	1.2	1.5	1.5	1.7	1.8	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
草木層(H)の植被率	(%)	20	40	40	40	40	40	40	60	70	90	90	95	90	90	95	90	95	95	95	95	95	95	95
草木層(H)の出現数	(種)	30	39	35	37	33	37	34	34	35	35	36	37	36	39	36	37	37	37	37	37	37	37	37
出現種数	(種)	30	39	35	37	33	37	35	36	35	35	36	37	36	39	36	37	37	37	37	37	37	37	37
草木層(H)																								
H. 50 ナワシロイチゴ																								
H. 51 モクタチバナ																	+	+	+	+				
H. 52 サネカズラ																		+	+					
H. 53 ヘクリカズラ																			+					
H. 54 イヌノキ																								
H. 55 ヤマグサ																								
H. 56 ドキワカモメヅル		+	+	+	+																			
H. 57 タイミンタチバナ																								
H. 58 コンノモチ									+	+	+				+	+	+	+	+	+				
H. 59 オオノバギ		+	+																					
H. 60 シンアケチ		+																						
H. 61 クロミオキナワスズメウリ																								
H. 62 カタバミ																								
H. 63 シマサルナシ																								
H. 64 ササクサ		+	+	+	+	+	+																	
H. 65 オニタビラコ		+																						
H. 66 リュウキュウマツ																								
H. 67 コシダ																								
H. 68 タカサゴコウブリナ		+																						
H. 69 ノボタン																								
H. 70 ナガバハリフタバ																								
H. 71 ウスベニニガナ																								
H. 72 ヤシノルアカガシワ																								
H. 73 マルバケハギ																								
H. 74 キダチコミカンゾウ		+																						
H. 75 ハナカサノキ																								
H. 76 ササバサンキライ																								
H. 77 ナガバカニクサ																								
H. 78 イタビカズラ																								
H. 79 モチガキ																								
H. 80																								
H. 81 ソメモノカズラ																								
H. 82 カラスキバサンキライ																								
H. 83 ヤブニッケイ																								

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5：被度が75～100%，4：被度が50～75%，3：被度が25～50%，2：被度が10～25%，1：被度が10%未満。+：被度が1%以下
群度→5：かべ状に分布、4：かべットに穴が開いた状態、3：大きな班を形成あるいはまだら状、2：班状に分布、1：小群状あるいは単独に分布

注)平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-37(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1: 西側)

N-4.1 マント群落・ソデ群落形成地		西側																								
調査年月日		H23年度		H24年度		H25年度		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		6/2	9/1	11/29	1/30							
		6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季		
海拔	(m)	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170		
方位		W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W		
傾斜角度	(°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
調査区面積	(m²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
低木層(S)の高さ	(m)	-	-	-	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
低木層(S)の被度率 (%)	-	-	-	15	20	20	20	20	30	50	70	75	75	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	5	5	8	9	9	8	6	6	9	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
草本層(H)の高さ	(m)	0.25	0.7	1.0	1.0	1.3	1.0	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	
草本層(H)の被度率 (%)	20	60	75	80	80	70	60	70	20	30	30	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	
草本層(H)の出現数 (種)	23	33	32	29	27	26	27	34	25	29	31	29	19	21	19	23	24	21	23	21	25	26	21	19	25	19
出現種数 (種)	23	33	32	30	30	31	32	36	28	31	31	21	23	21	25	26	24	23	27	21	出現回数					
低木層(S)																										
S. 1 ホルトキ(モガシ)																										
S. 2 ホンバクイヌビワ																										
S. 3 ギンゴウカン(ギンネム)																										
S. 4 オオムラサキシキブ																										
S. 5 ススキ																										
S. 6 リュウキュウイチゴ																										
S. 7 リュウキュウチク																										
S. 8 シロダモ																										
S. 9 ヤンバルアカメガシワ																										
S. 10 ヤマグワ																										
S. 11 ノボタン																										
S. 12 ショウセンノキ																										
S. 13 フカノキ																										
S. 14 エゴノキ																										
S. 15 カキバカンコノキ																										
S. 16 リュウキュウウマノスズクサ																										
草本層(H)																										
H. 1 リュウキュウチク (種栽)	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	80
H. 2 ススキ																										
H. 3 コゴメグサ																										
H. 4 ホシダ																										
H. 5 アカメガシワ																										
H. 6 ハイシロセンダングサ																										
H. 7 エダワチミザサ																										
H. 8 ホツバムクイヌビワ																										
H. 9 オキナワサルトリイバラ																										
H. 10 ケホシダ																										
H. 11 リュウキュウティカズラ																										
H. 12 ギンゴウカン(ギンネム)																										
H. 13 シロダモ																										
H. 14 リュウキュウチク																										
H. 15 タブノキ																										
H. 16 シマイズセンリョウ																										
H. 17 カキバカンコノキ																										
H. 18 ホウロクイチゴ																										
H. 19 イヌビワ																										
H. 20 アオノクマタケラン																										
H. 21 コンロカ																										
H. 22 リュウキュウウマノスズクサ																										
H. 23 オオムラサキシキブ																										
H. 24 カクレミノ																										
H. 25 ホルトキ(モガシ)																										
H. 26 リュウキュウバイライチゴ																										
H. 27 ヒメユズリハ																										
H. 28 スダジイ(イタジイ)																										
H. 29 エゴノキ																										
H. 30 ハゼノキ																										
H. 31 リュウキュウイチゴ																										
H. 32 フカノキ																										
H. 33 シラタカカズラ																										
H. 34 サキシマヨウ																										
H. 35 ゴンズイ																										
H. 36 トベラ																										
H. 37 ツボクサ																										
H. 38 クチナシ																										
H. 39 マンリョウ																										
H. 40 インドシャリンバイ																										
H. 41 シバヤニッケイ																										
H. 42																										
H. 43 ヒラミレモン																										
H. 44 ギイマ																										

表 7.2.3-37(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-4.1: 西側)

調査月日	西側																				出現回数						
	H23年度		H24年度			H25年度			H26年度			H27年度			H28年度			H29年度									
6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/28	11/15	1/17	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/2	9/1	11/29	1/30	
海拔 (m)	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	170	
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W		
傾斜角度 (°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
調査面積 (m²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	15	20	20	20	30	50	70	75	75	75	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	5	5	8	9	9	8	6	6	9	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
草木層(H)の高さ (m)	0.25	0.7	1.0	1.0	1.3	1.0	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	
草木層(H)の植被率 (%)	20	60	75	80	80	70	60	70	20	30	30	30	30	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	
草木層(H)の出現数 (種)	23	33	32	29	27	26	27	34	25	29	31	29	19	21	19	23	24	21	19	25	19	21	23	24	21	19	
出現種数 (種)	23	33	32	30	30	31	33	37	29	31	31	31	21	23	21	25	26	24	23	27	21	24	23	27	21	24	
草木層(H)																											
H.50 ナワシロイチゴ	+	1-2	+2	1-2																							15
H.51 モクタチバナ																											14
H.52 サネカズラ	+			+	+																						13
H.53 ヘクソカズラ																											12
H.54 イヌキ																											10
H.55 ヤマグワ																											10
H.56 トキワカモメヅル																											9
H.57 タミンチバナ																											7
H.58 コバンモチ																											6
H.59 オオバギ	+	1-2	+	+	+	+	+	+	+	+																5	
H.60 シラクチ																											4
H.61 クロミノオキナワスズメウリ	+	+	+																								4
H.62 カタツミ																											4
H.63 シママルナシ																											5
H.64 ササクサ																											5
H.65 オニタビラコ																											4
H.66 リョウキュウマツ																											4
H.67 コシダ																											4
H.68 タカサゴコウソリナ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																4	
H.69 イボタン	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																4	
H.70 ナガバハリフタバ																											3
H.71 ウスベニニガナ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																3	
H.72 ヤシノレアカガシワ																											3
H.73 マルバケハギ																											2
H.74 キダチコミカンソウ																											2
H.75 ハナガサノキ																											2
H.76 ササバサンキライ	+																										2
H.77 ナガバカニクサ																											2
H.78 イタビカズラ																											1
H.79 モチノキ																											1
H.80																											1
H.81 ソメモノカズラ																											1
H.82 カラスキバサンキライ																											1
H.83 ヤブニッケイ																											1

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度—5: 被度が 75~100%, 4: 被度が 50~75%, 3: 被度が 25~50%, 2: 被度が 10~25%, 1: 被度が 10%未満, +: 被度が 1%以下

群度—5: カペツ状に分布, 4: カペツ状に穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

注) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

【N-4. 1：北側】



平成 23 年 6 月 10 日（過年度：初回）



平成 30 年 1 月 30 日

【N-4. 1：南東側】



平成 23 年 6 月 10 日（過年度：初回）



平成 30 年 1 月 30 日

【N-4. 1：南側】



平成 23 年 6 月 10 日（過年度：初回）



平成 30 年 1 月 30 日

【N-4. 1：西側】



平成 23 年 6 月 10 日（過年度：初回）



平成 30 年 1 月 30 日

図 7.2.3-33 マント群落・ソデ群落の植生状況(N-4.1)

(b) 無障害物帯形成地の植生

N-4.1 の無障害物帯の生育・形成状況を表 7.2.3-38～表 7.2.3-41、図 7.2.3-34 に示した。

無障害物帯縁の植生の推移をみると、無障害物帯は樹木の伐採が行われた後、埋土種子からの発芽や周辺からの草本類の侵入による植被率の増加がみられ、植生の回復が進んでいることを確認した。

評価図書においては、無障害物帯は早期緑化を行うこととしており、その環境保全措置を実施できたと考えられる。以下に各調査地点の植生状況について整理した。

北側は、過年度の調査(平成 27 年度)では、草丈 1.5～1.8m、植被率 80%、出現種 20～21 種であった。今年度調査においては、草丈 0.3～0.5m、植被率 80～95%、出現種 14～15 種であった。草刈りの影響から、高さが低下し、ハイシロノセンダングサが優占するほか、コゴメスゲ、ホシダも高い被度を示した。

南東側は、過年度の調査(平成 27 年度)では、草丈 1.8～2.0m、植被率 95%、出現種 21～22 種であった。今年度調査においては、草丈 1.8m、植被率 95～100%、出現種 15～19 種であった。今年度は、草本類のススキが優占するほか、ホシダ、コゴメスゲ等が生育していた。

南側は、過年度の調査(平成 27 年度)では、草丈 1.5m、植被率 100%、出現種 20 種であった。今年度調査においては、草丈 1.5m、植被率 80～90%、出現種 16～21 種であった。今年度は、草本類のススキが優占するほか、コゴメスゲ等が生育するほか、木本類のシロダモ、タブノキの被度も増加していた。

西側は、過年度の調査(平成 27 年度)では、草丈 0.5～0.8m、植被率 100%、出現種 6～9 種であった。今年度調査においては、草丈 0.8m、植被率 95～100%、出現種 6～13 種であった。今年度は草本類のチガヤが優占するほか、ススキ、アメリカハマグルマ等が生育していた。

表 7.2.3-38(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 北側)

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

群度—5：被度が 75～100%、4：被度が 50～75%、3：被度が 25～50%、2：被度が 10～25%、1：被度が 10%未満、+：被度が 1%以下

注)平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-38(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 北側)

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度-5：被度が 75～100%、4：被度が 50～75%、3：被度が 25～50%、2：被度が 10～25%、1：被度が 10%未満、+：被度が 1%以下
群度-5：カベ-
ト状に分布、4：カベ-
ト穴に穴が開いた状態、3：大きな班を形成あるいはまだら状、2：班状に分布、1：小群状あるいは単独に分布

注)平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-39(1) 無障害物帶形成地の植生調査結果(N-4.1 南東側)

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

佔用度-5：被度が75~100%，4：被度が50~75%，3：被度が25~50%，2：被度が10~25%，1：被度が10%未満，+：被度が1%以下
群度-5：カベ-ト状に分布，4：カベ-トに穴が開いた状態，3：大きな班を形成あるいはまだら状，2：班状に分布，1：小群状あるいは単独に分布

注)平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-39(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 南東側)

N-4.1 無障害物帯形成地		南東側																					
調査年月日		H23年度			H24年度			H25年度			H26年度			H27年度			H28年度			H29年度			
		6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季
海拔	(m)	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175
方位		SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW	SSW
傾斜角度	(°)	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
調査面積	(m ²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ	(m)	-	-	-	1.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の植被率	(%)	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数	(種)	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ	(m)	0.4	1	1	1	0.5	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.5	1.5	1.6	2.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
草本層(H)の植被率	(%)	20	90	90	95	10	25	40	50	60	80	90	100	100	100	95	95	95	95	95	95	95	100
草本層(H)の出現数	(種)	21	23	22	32	12	23	21	22	20	19	18	17	17	23	22	21	22	21	22	18	19	18
出現種数	(種)	21	23	22	32	12	23	21	22	20	19	18	17	17	23	22	21	22	21	22	18	19	18
草本層(H)																							
H. 62 マンリョウ																							
H. 63 クチナシ																							
H. 64 ナカラハクロキ																							
H. 65 キヨウギシバ																							
H. 66 ノゲシ																							
H. 67 リュウキュウモチ																							
H. 68 ヒニアブラスキ																							
H. 69 オオアレチノギク																							
H. 70 ナカメタトラン																							
H. 71 マルバタケハギ																							
H. 72 コヤブタバコ																							
H. 73 ツボミオオバコ																							
H. 74 コナスビ																							
H. 75																							
H. 76 アカメイヌビワ																							
H. 77 アメリカフウロ																							
H. 78 イヌムギ																							
H. 79 キキョウラン																							
H. 80 キツネノボタケ																							
H. 81 キバナニワゼキショウ																							
H. 82 クロミオキナフズズメウリ																							
H. 83 コバヨツバムグラ																							
H. 84 コブナグサ																							
H. 85 ゴンズイ																							
H. 86 ササクサ																							
H. 87 シバヤブニッケイ																							
H. 88 ソメモリカズラ																							
H. 89 タイミンチバナ																							
H. 90 タカサゴコウゾリナ																							
H. 91 ナンバンギセル																							
H. 92 ハガサノキ																							
H. 93 ヒメオオタケ(ミヤマスゲ)																							
H. 94 ヒメイタビ																							
H. 95 モクタチバナ																							
H. 96 ヤハズソウ																							
H. 97 リュウキュウボタンヅル																							

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度—5：被度が 75~100%、4：被度が 50~75%、3：被度が 25~50%、2：被度が 10~25%、1：被度が 10%未満、+：被度が 1%以下

群度—5：かべ状に分布、4：かべ状に穴が開いた状態、3：大きな班を形成あるいはまだら状、2：班状に分布、1：小群状あるいは単独に分布

注) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-40(1) 無障害物帶形成地の植生調査結果(N-4.1 南側)

N-4.1 無障害物帶形成地		南側																		
調査年月日	H23年度	H24年度			H25年度			H26年度			H27年度			H28年度			H29年度			
		6/10 9/27	1/10 5/30	9/27 11/13	1/21 4/24	9/26 11/15	1/17 6/4	8/30 11/14	1/27 6/10	9/4 秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/2 9/1	11/29 1/30			
海拔 (m)	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176
方位	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
調査面積 (m²)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の被覆率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
草本層(H)の高さ (m)	0.3	1.1	0.9	1	0.3	0.5	0.8	1	1.3	1.3	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
草本層(H)の被覆率 (%)	25	40	60	80	20	30	50	70	80	100	100	100	100	100	100	100	90	90	90	80
草本層(H)の出現数 (種)	25	31	32	34	15	17	22	24	17	21	19	19	19	22	21	20	21	20	18	16
出現種数 (種)	25	31	32	34	15	17	22	24	17	21	19	19	19	22	21	20	21	20	18	16
低木層(S)																				
S. 1 タノキ																				
S. 2 ナカラハクロキ																				
S. 3 ヒメユズリハ																				
S. 4 ヤマモモ																				
草本層(H)																				
H. 1 ホダ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 2 ハイシロノセンダングサ	+	+	+	+	+·2	+·2	1·2	1·2	1·2	+·2	+·2	+·2	+·2	+·2	+·2	+·2	+·2	+·2	+·2	+·2
H. 3 ススキ					1·1	1·2	1·2	1·2	2·2	3·3	4·4	4·4	4·4	4·4	4·4	4·4	4·4	4·4	4·4	4·4
H. 4 ココメスグ	+·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	2·2	2·3	2·3	2·3	2·3	2·2	2·2	2·2	2·2	2·2	2·2	2·2	2·2
H. 5 アカメガシワ	+	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2
H. 6 ギンゴウカン(ギンネム)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 7 リュウキュウチク	+	+	+	+	+·2	+·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2	1·2
H. 8 カキバカンソノキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 9 タノキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 10 ホルトノキ(モガシ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 11 ホククイゴ																				
H. 12 オキナワサルトリイバラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 13 エキナチヂチザサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 14 ヒメユズリハ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 15 シマイズセンリョウ																				
H. 16 コバヒメハギ	+	+·2	+·2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 17 イヌビワ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 18 リュウキュウチカカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 19 アノノマケラン	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 20 オオムラサキシキブ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 21 シダモ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 22 クサクサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 23 アメリカハマグルマ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 24 リュウキュウバイテイゴ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 25 コロシカ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 26 マツマツ																				
H. 27 シタマカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 28 ホソバムイヌビワ	+	1·1	1·1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
H. 29 スダジイ(イタジイ)																				
H. 30 リュウキュウチゴ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 31 コバンモチ	+	+	+·2	+·2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 32 ナガハリフタバ																				
H. 33 シアクチ																				
H. 34 カタミ																				
H. 35 オニタビラコ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 36 リュウキュウウマノスズクサ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 37 ヘクリカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 38 イヌノキ																				
H. 39 ピオニモモン																				
H. 40 チガヤ																				
H. 41 リュウキュウマツ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 42 エゴノキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 43 ケホシダ																				
H. 44 シバ																				
H. 45 ナワシロイチゴ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 46 ハゼキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 47 サキシマフヨウ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 48 トキワカモモズル	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 49 フジノキ																				
H. 50 モクレイシ																				
H. 51 シダサルナン																				
H. 52 ベラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 53 ヤブニッケイ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 54 ハママツヅラ	*	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 55 ギマ																				
H. 56 インドシャリンバイ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H. 57 ケイイカカラ																				
M. 58 アキノノブシ																				
H. 59 カスマグサ																				
H. 60 タイワンアキギ																				
H. 61 ヤマモモ																				

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えは「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度—5：被度が 75~100%、4：被度が 50~75%、3：被度が 25~50%、2：被度が 10~25%、1：被度が 10%未満、+：被度が 1%以下
群度—5：カベット状に分布、4：カベットに穴が開いた状態、3：大きな班を形成あるいはまだら状、2：班状に分布、1：小群状あるいは単独に分布

注)平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-40(2) 無障害物帶形成地の植生調査結果(N-4.1 南側)

N-4.1 無障害物帶形成地		南側																		H29年度									
調査年月日		H23年度			H24年度			H25年度			H26年度			H27年度			H28年度			H29年度									
		6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/26	11/15	1/17	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/2	9/1	11/29	1/30	
海拔	(m)	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	176	
方位	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	SE	
傾斜角度	(°)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
調査区面積	(m2)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
低木層(S)の高さ	(m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の植被率	(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の出現数	(種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
草本層(H)の高さ	(m)	0.3	1.1	0.9	1	0.3	0.5	0.8	1	1.3	1.3	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	
草本層(H)の植被率	(%)	25	40	60	80	20	30	50	70	80	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	90	90	90	80	
草本層(H)の出現数	(種)	25	31	32	34	15	17	22	24	17	21	19	19	19	19	19	22	21	20	20	20	21	20	20	21	20	18	16	
出現種数	(種)	25	31	32	34	15	17	22	24	17	21	19	19	19	19	19	22	21	20	20	20	21	20	18	16	21	20	18	16
草本層(H)																													
H. 62 マンリョウ																													
H. 63 クチナシ																													
H. 64 ナカララクロキ																													
H. 65 ギヨウギシバ																													
H. 66 ノジメ																													
H. 67 リュウキュウモチ																													
H. 68 ヒアブロススキ																													
H. 69 オオアレチノギク																													
H. 70 トサカメオトラン																													
H. 71 マルバタケハギ																													
H. 72 コブタバコ																													
H. 73 ツボミオオバコ																													
H. 74 コヌスピ																													
H. 75																													
H. 76 アカメイヌビワ																													
H. 77 アメリカフウロ																													
H. 78 イヌムギ																													
H. 79 キヨウラン																													
H. 80 キヅネノボタン																													
H. 81 キバニワゼキショウ																													
H. 82 クロミオキナフズスメウリ																													
H. 83 コバヨツバムグラ																													
H. 84 コナグサ																													
H. 85 ゴンズイ																													
H. 86 ササクサ																													
H. 87 シバヤブニッケイ																													
H. 88 ソメモ/カズラ																													
H. 89 タイミンタチバナ																													
H. 90 タカサゴコウゾリナ																													
H. 91 ナンシンギセル																													
H. 92 ハナガソノキ																													
H. 93 ヒメオスゲ(ミヤマスゲ)																													
H. 94 ヒメタビ																													
H. 95 モクタチバナ																													
H. 96 ヤハズソウ																													
H. 97 リュウキュウボタンヅル																													

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5：被度が 75~100%, 4：被度が 50~75%, 3：被度が 25~50%, 2：被度が 10~25%, 1：被度が 10%未満, +：被度が 1%以下
群度→5：カペツ状に分布, 4：カペツに穴が開いた状態, 3：大きな班を形成あるいはまだら状, 2：班状に分布, 1：小群状あるいは単独に分布

注) 平成 27 年度秋季から平成 28 年度冬季まで欠側。

表 7.2.3-41(1) 無障害物帶形成地の植生調査結果(N-4.1 西側)

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度=5：被度が 75～100%, 4：被度が 50～75%, 3：被度が 25～50%, 2：被度が 10～25%, 1：被度が 10%未満, +：被度が 1%以下
群度=5：カペット状に分布, 4：カペットに穴が開いた状態, 3：大きな班を形成あるいはまだら状, 2：班状に分布, 1：小群状あるいは単独に分布

注)平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

表 7.2.3-41(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-4.1 西側)

N-4.1 無障害物帯形成地		西側																														
調査年月日	H23年度	H24年度						H25年度						H26年度				H27年度				H28年度				H29年度						
		6/10	9/27	1/10	5/30	9/27	11/13	1/21	4/24	9/28	11/15	1/17	6/4	8/30	11/14	1/27	6/10	9/4	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	6/2	9/1	11/29	1/30				
海拔 (m)	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175				
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W			
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30		
調査区面積 (m2)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5			
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
草本層(H)の高さ (m)	0.3	1	1	1.1	0.5	-	-	-	0.2	0.2	0.2	0.6	0.7	0.5	0.2	0.5	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
草本層(H)の植被率 (%)	35	50	85	95	20	-	-	-	90	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100		
草本層(H)の出現数 (種)	22	25	18	28	8	-	-	-	7	10	9	9	7	10	10	10	9	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
出現種数 (種)	22	25	17	28	8	-	-	-	7	10	9	9	7	10	10	10	9	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
草本層(H)																																
H. 62 マンリョウ																															3	
H. 63 タチナシ																															3	
H. 64 ナカララクロキ																															3	
H. 65 ギョウギシバ																															+	3
H. 66 ノゾリ																															3	
H. 67 リュウキュウモチ																															2	
H. 68 ヒメアブススキ																															2	
H. 69 オオアレチ/ギク																															+	2
H. 70 トサカメオトラン																															2	
H. 71 マルバタケハギ																															2	
H. 72 コヤブリコ																															1	
H. 73 ツボミオオバコ																															1	
H. 74 コヌビ																															1	
H. 75																															1	
H. 76 アカメイヌビワ																															1	
H. 77 アメリカフウロ																															1	
H. 78 イヌムギ																															+	1
H. 79 キキョウラン																															1	
H. 80 キヅネノボタン																															+	1
H. 81 キバナニワゼキショウ																															1	
H. 82 クロミオキナワズメウリ																															1	
H. 83 コバヨツバムグラ																															1	
H. 84 コブナグサ																															1	
H. 85 ゴンズイ																															1	
H. 86 ササクサ																															1	
H. 87 シバアブニッケイ																															1	
H. 88 ソメモクズラ																															1	
H. 89 タイミンチバナ																															1	
H. 90 カサゴソウ/リリナ																															1	
H. 91 ナンバンギセル																															1	
H. 92 ハナガサノキ																															1	
H. 93 ヒニアオズゲ(ミヤマスゲ)																															*	1
H. 94 ヒメイタ																															1	
H. 95 モクタチバナ																															1	
H. 96 ヤハズソウ																															1	
H. 97 リュウキュウボタンヅル																															+	2

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5：被度が75～100%，4：被度が50～75%，3：被度が25～50%，2：被度が10～25%，1：被度が10%未満、+：被度が1%以下
群度→5：カペット状に分布、4：カペットに穴が開いた状態、3：大きな班を形成あるいはまだら状、2：班状に分布、1：小群状あるいは単独に分布

注)平成27年度秋季から平成28年度冬季まで欠測。

【N-4.1：北側】



平成 23 年 6 月 10 日（過年度：初回）



平成 30 年 1 月 30 日



【N-4.1：南東側】



平成 23 年 6 月 10 日（過年度：初回）



平成 30 年 1 月 30 日



【N-4.1：南側】



平成 23 年 6 月 10 日（過年度：初回）



平成 30 年 1 月 30 日



【N-4.1：西側】



平成 23 年 6 月 10 日（過年度：初回）



平成 30 年 1 月 30 日



図 7.2.3-34 無障害物帶形成地の植生状況 (N-4.1)